

平成29年度 事業計画の概要

当協会は、「観光振興事業」と「コンベンション振興事業」、「県立施設の指定管理事業」を営んでいる。

平成28年度の【観光振興・自主事業】では、本県の魅力をまるごと情報発信する「おどる宝島！とくしま博覧会」の名称を「とくしま魅力体感博2016」に変更し、10月から3月までの6ヶ月間開催するとともに、四国デスティネーション（四国DC）キャンペーンを控え「四国DCの開催を契機とした誘客事業」のほか、「旅行AGT等サポート事業」や「観光商談会等への参加事業」などを行った。

インバウンド事業では、四国運輸局や他県観光協会、コンベンションビューロー等と連携し、中国・韓国・台湾等からの観光客やインセンティブ旅行、教育旅行などの誘致に取り組んだ。

【観光振興・県からの受託事業】では、二次交通機関の整備やその効果検証等を行う「四国DCに向けた受入環境充实事業」としての「徳島・鳴門ぐるっとバス」、「鳴門・祖谷観光たびバス」の運行や、本県への旅行商品の造成と送客を働きかけた「四国DCに向けた徳島旅行促進事業」としてのバス助成のほか、映画やテレビロケ等の誘致を行う「とくしまロケーション・ブランド発信事業」や観光情報サイトの維持管理を行う「観光情報提供システム整備事業」などを実施した。

【コンベンション振興事業】では、「国際ミーティングエキスポ」や「東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会」等でのコンベンション誘致事業のほか、一定の要件を満たしたコンベンション主催者に対し「コンベンション支援助成金の交付事業」や県内での滞在性や周遊性を高める「主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業」などを実施した結果、コンベンションの開催件数等は昨年度を大幅に上回る見込みである。

【指定管理事業】の「アスティとくしま」及び「ときわプラザ」の運営に関しては、3期目の指定管理を平成28年度から5年間継続して受託することとなった。

これまで以上に「安全・安心・快適」を基本方針として、利便性と利用者サービスの向上に取り組むとともに、徳島県との共催で開催した「おどる宝島！とくしま魅力体感博」のメインイベント「秋の阿波おどり」のほか、利用促進事業等では「アスティおどりひろば」や「阿波とくしま観光かるた大会」なども実施した。

また、コンベンション等での利用も増加し、多目的ホール等の稼働率及び施設の利用料収入も増えたことから、徳島県から報奨金を受ける見込みとなっている。

「渦の道」と「エディ」については、利用状況が低迷していたことから、これまで以上に利用者サービスの向上に努めるとともに、イベント開催や対旅行AGT誘致セールスによる利用促進、渋滞対策業務などに取り組んだ。

平成29年度は、観光振興面で「ホップ・ステップ・ジャンプ作戦2017」を掲げ、県や市町村、諸団体や観光事業者等との連携を密にし、新規あるいは継続施策を積極果敢に推進し、国内客・訪日客の両面で宿泊者数の拡大に努めたい。

第一四半期には、JRグループ6社や地方自治体・観光関係団体等が協力して実施する四国を旅行目的地とした大型の観光キャンペーン「四国デスティネーションキャンペーン（四国DC）～しあわせぐるり しこくるり～」が開催される。

四国DCでは、四国内各地で「学・観・遊・心・食」をテーマとした多彩な観光プログラムを用意しているほか、JR四国の新観光列車「四国まんなか千年ものがたり」が土讃線多度津・大歩危駅間で運転を開始する。

四国DCにあわせ、徳島県では、初のテーマ訴求型観光キャンペーン「ときめき★あわ旅～あわ文化体感博～」を上半期に開催、鳴門・祖谷たびタクシーなどの二次交通機関整備を行うほか、阿波おどりや阿波藍、アニメやアート、伝統工芸や食文化、農山漁村文化など本県の魅力や素晴らしさを体感して頂くこととしている。

これらのキャンペーン終了後の下半期には、「アフターキャンペーン」として、通算10回目となる当協会主催「おどる宝島！とくしま魅力体感博(仮称)」をその名称や内容などを刷新・再構築しながら実施する。

さらに、訪日客誘致対策に関しては、広域連携の枠組みによる施策展開が極めて効果的であることから、国際便が充実しつつある香川県との2県連携をはじめ、四国ツーリズム創造機構やせとうち観光推進機構、関西国際観光推進本部との連携を密にしながら取り組んでいきたい。

【観光振興の自主事業】としては、新規事業として、四国DCを契機とした「着地型旅行商品の造成やPRを促進する事業」や「四国DC向け旅行商品フォローアップ事業」、「観光人材育成研修事業」等を実施するほか、「おどる宝島！とくしま魅力体感博（仮称）」を継続実施する。

また、インバウンド事業では、四国運輸局や徳島県のほか、他県観光協会やコンベンションビューロー等と連携した「香港・中国・韓国・台湾等からの観光客やインセンティブ旅行、教育旅行などの誘致」に取り組むとともに、訪日外国人旅行者が快適にかつ満足度の高い県内旅行を体感して頂けるよう準備した受入環境整備の深度化を図ることとする。

【観光振興・県からの受託事業】としては、新規に、四国DC向け二次交通機関整備事業としての定期観光バス運行、旅行商品の造成・送客を働きかける「周遊促進！徳島観光すいすい事業」のほか、「着地型観光・コンベンション事業」を実施するとともに、継続事業としては、「とくしまロケーション・ブランド発信事業」や観光情報サイト「阿波ナビ」の維持管理を行う「観光情報提供システム整備事業」などを実施する。

【コンベンション振興事業】としては、新規に、各種支援・助成金等を紹介する「コンベンションセミナーの開催」、コンベンション誘致を図る「コンベンショントレードショーへの参加」やコンベンションの開催決定権を有する方々の受け入れ支援を行う「全国コンベンション誘致促進事業」、コンベンション主催者に対し開催費等の助成を行う「コンベンション支援助成金の交付事業」などを継続実施する。

【指定管理事業】の「アスティとくしま」及び「ときわプラザ」の運営に関しては、これまで同様「安全・安心・快適な施設運営」と「利用者サービスの向上」に努めるとともに、観光やコンベンション振興部門とも連携して、アスティとくしまへの誘致活動を積極的に進める。

また、「アスティおどりひろば」や「阿波おどり練習風景の観覧」、「阿波とくしま観光かるた大会」などの事業を継続実施するほか、「秋の阿波おどりの開催日数拡大(2日間を3日間に)」や「アスティとくしま開館25周年(平成30年度)のイベント・著名アーティストによるコンサート」を誘致・開催する。

「渦の道」と「エディ」については、利用者サービスの向上策や集客イベントの開催、旅行AGT等に対する営業活動などによる利用促進を図るほか、今年度末で指定管理期間が満了するため、運営受託の継続を目指して共同管理運営者とともに応募する。

以上を踏まえた平成29年度の具体的な事業計画は、次のとおりである。

観光振興事業

1 自主事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 観光情報等の発信事業 一部新規

観光情報サイト「阿波ナビ」を最大限に活用した観光情報発信については、観光団体等からの情報を幅広く収集し、「旬の情報」として効果的かつタイムリーに行うとともに、「とくしまフォト紀行」の更なるビジュアル化と付帯情報の充実化に取り組むこととする。

観光客へのパンフレットやマップ類の送付にあたっては、「観光情報プラス1作戦」による情報発信の強化・拡大に努めるほか、本県への宿泊者が多い外国人観光客（香港・台湾）向けに繁体字によるSNSでの観光情報発信を行う。

② 「とくしま観光・物産アドバイザー」制度事業

県外企業の徳島在勤の方々(支社長・支店長・支局長・所長等)は、本県の観光や物産面の魅力と素晴らしさについても実体感され、その良否を客観的な視点にたった的確に評価して頂いている。

これらの声を貴重なご提言として観光・物産施策に反映し、転勤後も永く徳島ファンとして宣伝・広告塔的な役割を果たして頂くため、徳島県物産協会と連携して、観光や物産情報を適宜提供するとともに、本県の観光・物産資源等を現地で体感する機会を提供する。

③ 観光情報誌「うずうず」作成事業

県内各地のイベントや季節ごとの旬の情報など、新着情報をタイムリーに掲載した季刊誌を春・夏・秋冬に作成し配布する。

なお、従来以上に見やすい観光情報誌とするため、掲載内容を検討する。

④ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内の「徳島県観光情報ステーション」で、パンフレットやポスター、のぼり等の設置、映像等による観光情報の発信を行う。

⑤ 全国の徳島県人会等への観光情報提供事業

全国各地に広がる県人会の人的ネットワークを活用し、観光誘客の推進や物産の販路拡大に資するため、本県の旬の情報を掲載したパンフレットやお得な情報を提供するとともに、「阿波ナビ」や「全国徳島県人会連合会のホームページ」を活用した情報発信に努める。

⑥ 観光ポスター、パンフレットの掲出による情報発信事業

本四高速（株）、西日本高速（株）、道の駅、南海電鉄グループ等と連携し、本県への観光誘致を目的とした観光ポスターやパンフレットを県外のS・A・P・A等に設置し、近隣圏からの誘客に努める。

⑦ とくしま観光情報通信員の活用事業

とくしま観光情報通信員提供の旬の情報や隠れた観光資源・観光トピックスは、阿波ナビを活用してタイムリーかつスピーディーに発信しており、引き続き、通信員数の拡大や交流会開催によるレベルアップ研修を行う。

(2) 観光客誘致促進事業

【国内誘客事業】

① 着地型旅行商品造成促進事業 新規

4～6月開催の四国デスティネーションキャンペーン（四国DC）を契機に造成した着地型旅行商品の魅力を広くPRし、誘客促進に努めるため、関係者と連携したモニターツアーの開催や情報発信の強化を行う。

② とくしま魅力体感博2017（仮称）の開催

本県の魅力や素晴らしさをマルゴト情報発信し、誘客を図るため展開してきた当協会主催の「おどる宝島！とくしま魅力体感博」については、上半期実施の徳島県観光キャンペーン「ときめき★あわ旅～あわ文化体感博～」などを考慮し、名称や内容を刷新・再構築しながら継続実施する。

ア. 特別イベントの開催

徳島県との共催による「秋の阿波おどり」に加え、「お試し歩き遍路」を開催するほか、「四国まんなか千年ものがたりをチャーターした旅行商

品造成」を行う。

イ. 新規商品企画や地域イベントのリニューアル 一部新規

地域イベントについては、観光客が体感可能な参加型双方向交流イベントを目指すよう働きかけるほか、新たな魅力や価値を付加したものとする。

ウ. 県内外へのPR活動等 一部新規

徳島県の大型キャンペーンと連携したパンフレットやポスター等を作成し、県内外に配布・掲載するとともに、専用ホームページを作成して情報発信を行うほか、マスメディアを活用した有料広告宣伝も検討する。

また、パンフレット作成については、スマートフォンの普及を活用し、パンフレット紙面に情報発信機能を搭載するなど新たな手法によるPRを検討する。

③ 旅行AGT等サポート事業 一部新規

旅行AGTに対する本県観光情報の切れ目のない提供に努めるほか、国内旅行AGTの旅行商品造成に向けた県内視察を促進する。

④ 四国四県観光協会連合による四国域内流動活性化事業

四国四県観光協会連合の取組課題である「四国内の旅客流動を活性化」するため、大規模商業施設での四国4県観光PRキャンペーンを実施するとともに、JR四国主要駅や大規模商業施設、ネクスコ西日本の道路情報提供ブース等での観光パンフレット設置や各県の県政記者クラブ等に対する定期的な情報発信を行う。

また、「おもてなし四国」を推進するため、観光客が感激したおもてなし事例を募集・選考し、表彰する「おもてなし感激大賞」事業を実施する。

⑤ 観光商談会等への参加事業

四国ツーリズム創造機構やJR四国等が主催する旅行AGT等を対象とした観光商談会や三旅連主催による旅行AGTへのPRキャラバン、県内市町村や観光関連団体等による観光キャラバンに参加し、本県の観光PRやイベント等の情報発信と旅行商品造成を働きかける。

⑥ マスコミ活用宣伝事業

情報発信効果が高いマスコミを活用し、県内の魅力あるイベント等について、適宜情報提供に努めるとともに、一部有料広告等の活用を検討する。

【訪日客誘致事業】

① 海外からのMICE誘致等促進事業 一部新規

ア. 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光・物産面の魅力を広く発信し、認知度向上や訪日客誘致を図

るため、徳島県を訪れたり、在住あるいは在住したことがある外国籍の方や日本に帰化した方、国外在住の徳島県人や徳島ファンの日本人を対象に、「徳島国際観光・物産交流特使」を委嘱する。

イ. 四国インバウンド商談会2017への参加

四国運輸局・四国ツーリズム創造機構が主催する「四国インバウンド商談会2017」に参加し、中国・韓国・台湾・香港など、東アジア地域の旅行会社等を招請する商談会等の場を活用して、訪日客誘致を図る。

ウ. VISIT JAPAN トラベル&MICEマートへの参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」に出展し、本県の旬の観光情報および、宿泊、アクセスなど各種情報の提供を行ない、インバウンド誘客に努める。

エ. 中国からの誘致

四国運輸局や四国ツーリズム創造機構、四国のコンベンション推進団体等と連携し、中国や香港からの観光客や教育旅行、インセンティブ旅行の誘致を図る。

新規事業として新たな地域への営業活動や、現地の旅行社とのタイアップなど効果的な誘致に取り組む。

また、他団体等が主催する県内視察等においては、現地でのアテンドや案内等に同行するなど受入対策にも取り組む(韓国、台湾も同様)。

オ. 韓国からの誘致

四国運輸局や香川県観光協会、高松観光コンベンションビューロー等と協力し、「2017 VISIT JAPAN 韓国市場商談会inソウル」などへ参加するとともに、韓国からの観光客や教育旅行、MICE客の誘致を図る。

カ. 台湾からの誘致

四国運輸局や日本観光振興協会四国支部等と協力し、「台北国際旅行博覧会(ITF2017)」や「訪日台湾教育旅行誘致事業」に参加し、台湾国内での各種プロモーションや旅行AGT、台湾高級中学への訪問セールスを行い、旅行商品造成や教育旅行における学校交流や民泊等の誘致に取り組む。

キ. その他の国からの誘致

「VISIT JAPAN ASIA TRAVEL MART」への新たな参加や「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」への出展を行い、アジア圏及び世界各国の旅行社へ徳島の魅力を発信することにより、海外からの観光客誘客促進に努める。

(3) 観光客受入対策事業

① 外国人受入態勢整備事業 一部新規

外国人が住みやすく、訪れやすい受入態勢整備を図るため、徳島県拳県一致協議会が進める「訪日外国人4,000万人時代に向けた取組施策」については、当協会としても自主的かつ積極的に推進する。

ア. 訪日客向けの態勢整備

- ・ 訪日外国人旅行者が日本国内の旅行中に困ったことや必要とする諸情報、すなわち多言語対応パンフレット情報（英語・繁体字・簡体字・韓国語）や本県内での外国人観光案内拠点情報（市町村や観光協会等）などについては、観光情報サイト「阿波ナビ」に「訪日客おもてなしコーナー（仮称）」を新設し対応する。
- ・ さらに、観光案内拠点等における「訪日客向けおもてなしサービス」を活用して頂ける受入態勢を整備する。

イ. 観光案内拠点など訪日客受け入れ側における態勢整備

市町村の観光窓口や観光協会、観光事業者など当協会の賛助会員向けには、訪日客受け入れや案内時に有益な諸情報（多言語標記パンフレット情報、多言語標記の事例集、外国語の指さし会話集、訪日客が必要とする諸情報等々）を収録した「訪日客おもてなし情報（USB）」を提供し、受入・案内時の一助として活用して頂く態勢整備を深度化する。

② 四国DC向け旅行商品フォローアップ事業 新規

四国DC向け体験メニューの継続実施に向けて、市町村の観光部門や観光団体・事業者等の協力を得ながら、体験メニューの見直しや、PRに関する支援・協力をを行う。

③ 県内における二次交通利用促進事業

受入対策の中で特に重視されている二次交通機関対策については、既存交通機関（鉄道、路線バスや周遊観光バス、タクシーやレンタカー、レンタサイクル）の運転（行）情報や運賃料金、割引きっぷなどの提供サービスを広く案内するほか、県からの受託事業「鳴門・祖谷たびタクシー」等のPRと利用促進に努めることとする。

④ 観光ボランティア団体等に対する支援・育成事業

県内の観光ボランティア団体や四国観光達人、体験型観光事業者等を対象とした交流会やレベルアップの研修会を実施するとともに、新規発足団体に対する支援等を行う。

⑤ 地域イベントの開発と地域支援事業 一部新規

県内各地域が開催する地域イベントや四国DCを契機に造成した着地型旅

行商品等に関しては、ブラッシュアップを図るなど観光客の満足度をより高められるよう、可能な限りの支援と協力を行う。

⑥ 観光案内問い合わせ活用事業

当協会に対する観光客やマスコミ等からの問い合わせは、観光客の動向やニーズ等が把握できる貴重なマーケティングデータであることから、事業を継続しながら、今後の観光振興施策に反映していくこととする。

⑦ 当協会所有「阿波おどり 花れん浴衣」の衣装レンタル事業

「阿波おどり 花れん浴衣」を貸し出しし、コンベンション開催時等における「華やかな演出」や「浴衣で城下町散策」を行ってもらう。

⑧ 観光人材育成研修事業 新規

観光による町づくりをはじめ、地域の魅力を活かした商品造りや受入態勢の向上等を推進する担い手を育成するため、所要となる人材育成研修事業を実施する。

(4) その他の事業

① 自主財源の確保

自主事業展開に不可欠な自主財源を確保するため、賛助会員収入や有料広告収入増（ホームページ阿波ナビや協会作成観光パンフレット等への広告掲載料）に加え、とくしま花へんろカレンダーの販売収益拡大等に努める。

② 観光事業功労者・観光施設優良従業員の表彰等

観光振興面で功績のあった観光事業者や長期勤続の観光施設優良従業員等への表彰を行うとともに、過去の被表彰者の中から（公社）日本観光振興協会四国支部表彰に該当する適格者を推薦する。

特に、今年度は、当協会の推進事業に関し特段のご理解とご協力を頂いている関係団体等に対する感謝状等の贈呈を行う。

2 県からの受託事業

(1) 周遊促進！徳島観光すいすい事業（定期観光バス運行等） 新規

本年4～6月に開催される四国DCにより訪れる観光客の周遊促進を図るため、二次交通機関対策として、県内の交通結節点と観光地を結ぶ定期観光バスやタクシーの運行を行う。

(2) 周遊促進！徳島観光すいすい事業（バス助成） 新規

四国DCを契機に、旅行会社に対する本県向け旅行商品の造成と送客を働きかけるとともに、団体旅行等の需要喚起を目的とした対旅行会社助成等を行う。

(3) とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施し、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努める。

(4) 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客促進事業

観光誘客を促進するため、県内で開催されるイベントに対し、有形・無形の支援を行う。

(5) 体験型観光ステップアップ事業

体験型観光の先進地として、さらなる飛躍を図るため、県下全域での受入態勢を構築するなど、体験型観光のブランド化を行う。

(6) 阿波おどり「とくしま連」運営事業

徳島県のイメージアップを図るとともに、郷土の伝統芸能である「阿波おどり」の継承やこれによる観光客の誘致促進を図るため、阿波おどり「とくしま連」の運営に係る業務を行う。

(7) 観光情報提供システム整備事業

観光客の誘致促進、受入態勢の充実を図るため、観光情報提供サイト「阿波ナビ」の維持管理を行う。

(8) 外国人観光客倍增推進事業（うち教育旅行促進）

海外の教育機関等へのセールスプロモーションや現地教育関係者の県内視察等を通じ、本県の魅力や受入態勢をPRし、教育旅行誘致を促進する。

(9) 「スポーツ王国」立国事業

県内のスポーツ施設やスポーツ合宿受入宿泊施設等と連携し、県外の企業や大学等のスポーツ合宿誘致を行うとともに、思い出づくりサポートによる徳島県内での合宿リピーター拡大を図る。

(10) 着地型観光・コンベンション事業 新規

県内の着地型観光プラン等のサポートツールを作成し、旅行会社への売り込みを行う。また、コンベンションの開催決定後のサポートを行う。

3 収益事業

(1) 観光宣伝・情報発信事業

① 徳島県観光ガイドマップ作成事業

徳島県内の観光情報を広く発信するために、見所や主要観光施設、グルメなどを写真で紹介した「徳島県観光ガイドマップ」を作成し、県内外での観光キャンペーンで活用するほか、観光案内所や観光施設等で広く配布する。

② とくしま花へんろカレンダー作成事業

花による町づくりとフラワーツーリズムを推進するため、「2018とくしま花へんろカレンダー」を作成・配布するとともに販売する。

(2) 旅行業推進事業

① 「旅行業」の推進に向けて

旅行商品造成について、本県の歴史や文化などを体感できる観光素材を組み込むとともに、観光ガイドを充実させ、お客様と地域住民が交流できるものとする。下半期に開催する「おどる宝島！とくしま魅力体感博」の特別企画として、JR四国の新観光列車「四国まんなか千年ものがたり」をチャーターした旅行商品を企画・募集する。

コンベンション振興事業

1 コンベンション振興事業

(1) 情報発信事業

MICE事業の推進を目的とした日本で最大規模の商談会である「国際ミーティングエキスポ」のほか、東北地区および中国四国地区のコンベンション推進団体が開催する「東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会」等へ出展し、本県へのMICE振興に向けたPRと誘致を行う。

① コンベンショントレードショーへの参加

ア. 国際ミーティングエキスポへの参加

平成29年度よりテーブルトップの商談会形式となる「国際ミーティングエキスポ」に出展し、国内外の会議主催者やキーパーソンに対して、施設・ホテル情報や各種支援案内・提案等を行ない、本県へのコンベンション誘致に努める。

イ. 東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

東北地区および中国四国地区のコンベンション推進団体と協力し、懇談会へ参加し、本県での開催に関わる主催団体に対するPRと誘致に努める。

② 情報誌の作成及びホームページでの情報発信事業

当協会発行の情報誌に各種コンベンション情報を掲載するほか、コンベンション事業部のホームページによる情報発信とPRに努める。

③ コンベンションセミナーの開催 新規

県内の主催者を対象に各種支援・助成金を紹介する「コンベンションセミナー」を開催し、本県へのコンベンション誘致のためのプログラムを紹介による誘致促進に努める。

(2) 誘致対策事業

① 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」事業

コンベンション誘致による地域経済効果が極めて高いことから設立した産官学民総連携の「とくしまコンベンション誘致推進協議会」を活かした誘致活動を積極的に推進する。

② 全国コンベンション誘致促進事業

全国規模のMICE誘致促進を図るため、主催者側で開催の決定権を有する責任者など（キーパーソン）がコンベンション施設等の視察を希望する場合は、積極的な受入支援を行う。

(3) 受入支援事業

① コンベンション支援助成金の交付事業

対象要件を満たすコンベンション主催者に対し開催費を助成するほか、郷土芸能等のアトラクション助成やシャトルバス運行等の助成を行う。

さらに、延べ1000泊以上のコンベンションについては県立施設の使用料相当額を助成する。

② 主要観光施設の紹介及び割引制度の提供事業

コンベンション参加者に対して、県内観光地の優待割引制度や飲食店等を紹介した資料を提供し、県内での滞在時間拡大や広域周遊を働きかける。

③ 歓迎看板の設置事業

参加者が500名以上の全国規模コンベンション開催時は、徳島阿波おどり空港及びJR徳島駅に歓迎看板を設置する。

また、大規模なコンベンション開催時には、街を挙げての歓迎ムードを高めるため、ホテル・飲食店等の入り口に歓迎ポスターを掲示する。

④ 大規模コンベンション開催情報発信事業

県内開催のコンベンション情報を、メディアや観光、宿泊、飲食、土産などの関連団体に幅広く広報し、県外客のスムーズな受け入れを行う。

⑤ コンgresバックの提供事業

コンベンション開催時に、当協会作成のコンgresバックに大会名等を記載し、安価に提供するなど、コンベンション参加者の利便性を高める。

⑥ 戦略的MICE誘致事業 一部新規

参加者向けの各種ツールの魅力度向上を図るとともに、主催者向けに本県で提案可能なユニークベニュープランを拡充し誘客に努める。

⑦ MICEおもてなし事業

観光振興部門と連携し、大規模コンベンション開催時には観光PRブースを設置し案内を行なうことにより、観光振興の一助とするほか、観光ボランティアガイドツアーの紹介により参加者の満足度を高める。

⑧ コンベンションの魅力度向上事業

アスティとくしまでのコンベンション開催時に「彩＝華やかな演出」を添えるため、コンベンション主催者に対する「阿波おどり 花れん浴衣（当協会所有）レンタル事業」を行う。

(4) 各種情報の収集と提供事業

国内・国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コングレス・コパニョビュール）等のノウハウや諸情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携して、開催計画などの情報収集と意向調査に努める。

また、本県の観光や食、伝統芸能など魅力あるアフターコンベンション情報を主催者に対する確に発信するとともに、主催者側発行のパンフレット類への掲載依頼をすることで、県内での滞在日数や周遊箇所数の拡大に努める。

施設等管理運営事業

1. 徳島県立産業観光交流センター（アスティとくしま）の管理運営事業

(1) 指定管理業務の充実・強化策

今年度は、当協会が継続してアスティとくしまの管理運営を担うこととなった2年目であり、これまで同様に「安全・安心・快適」を基本方針として、利用者の声を常に伺いながら、利便性と利用者サービスの向上に取り組むとともに、さらなる業務能率の向上や効率化を推進する。

また、観光やコンベンション振興部門を含めた協会の総力をあげ、アスティとくしまの使用料収入増と稼働率向上を図る。

同時に、利用促進を目的とした事業等を積極的に開催し、徳島の魅力を発信する拠点として、にぎわいづくりや地域の活性化を図る。

(2) 館内設備の維持更新等

館内設備については、定期的な点検により故障や事故の未然防止に努める。

設備の維持・修繕については、経年劣化状況に加え、安全性とコストの両面から優先度を決定し、県との事前協議を綿密に行いながら効率的かつ効果的に実施することとする。

また、主催者及び来場者アンケートによるご要望を取り入れ、利用者サービスの向上施策に繋がるものについては積極的に導入を進める。

(3) 利用促進を目的とした事業展開

① 大会・会議等の誘致事業

コンベンション振興部門と連携し、「国際ミーティングエキスポ」、「東北地区&中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会」等に参加し、当施設の規模や開催地域に当てはまる可能性が高い大会や会議、学会など様々な催しの誘致に努める。

また、コンベンション助成制度や閑散期減免制度を活用し、経済効果の高い学会や大会等の誘致活動を行い、地域の発展と観光等の振興に寄与する。

② 地元企業及び学校関係の会合、芸術・文化イベントの誘致

県内企業の商談会・商品説明会、学校・各種団体の会合、芸術・文化イベントの開催等、多目的ホール・会議室等の利用促進を図るため、積極的な営業活動を行う。

③ 秋の阿波おどり

平成20年度より開催している「秋の阿波おどり」が、平成29年度で10回目を迎えることもあり、11月第1週の土・日を含む3日間開催とする（前年度までは2日間開催）。

開催時期をほぼ固定化するとともに、同期間開催の「ふるさとカーニバル阿波の狸まつり」との連携策（シャトルバス・船による移動）を講じ、相乗効果による来場者増を目指す。

今年度も、阿波おどりや阿波人形浄瑠璃に加え、県内市町村の特産品販売ブースやB級グルメブース等の内容を充実させ、これらを全国に情報発信して、交流人口の拡大やにぎわいの創出による地域の活性化に繋げることとする。

また、県外旅行AGTへの積極的な誘客活動や誘客キャンペーンを行う。

【開催予定日】11月3日（金<祝>）・4日（土）・5日（日）

④ アスティおどりひろば(県指定事業)

8月12日からの4日間、阿波おどり期間中の昼間対策として、県内有名連による阿波おどりの上演と阿波おどり体験の場として提供する。

特産品コーナーをさらに充実させ、好評の阿波おどり浴衣着付け体験等のイベントを紹介するリーフレットを早期に作成・配布し旅行会社等への積極的なPR活動を行い、本県阿波おどりの魅力度向上と県内外客の誘致に努める。

⑤ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

天候に左右されない多目的ホールの空き日を、「はな・はるフェスタ」及び「夏本番の阿波踊り」の練習場所として継続提供し、郷土芸能の発展と普及をサポートするとともに、練習風景の観覧情報をマスコミや市内宿泊施設等に発信し、にぎわいの創出やおもてなしの向上に努める。

⑥ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

ふれあい広場は、県や市町村等と連携し、各地域のタイムリーな話題や観光情報を提供する場としているが、引き続き各地域のイベント開催情報や旬の観光情報発信の場として活用し、写真展やパネル展等の開催により県内各地のPR効果を高める。

また、県内各地の花の名所を撮影した「とくしま花のある風景フォトコンテスト」を開催し、応募者の作品を「とくしま花のある風景写真パネル展」として展示する。

⑦ 阿波とくしま観光かるた大会

本県の将来を担う子どもたちに、郷土の伝統や文化、自然などのすばらしさを楽しく学び、郷土愛を育てて頂く目的で開催している当大会については、毎回出場者が増えていることから、今年度も「第8回阿波とくしま観光かるた大会」として継続開催する。

⑧ 明日亭徳島落語会

地域の方々に親しまれる施設を目指し実施している落語会を、その他の伝統芸能等も取り入れながら「第14回明日亭徳島落語会」として継続開催し、にぎわいの創出や伝統文化の振興を図る。

⑨ 徳島ヴォルティス アウェイ戦パブリックビューイング

徳島ヴォルティスのJ1への再昇格を願い、多目的ホールの空き日を利用して、アウェイ戦のパブリックビューイングを開催し、県民と一体となって応援する。

(多目的ホールの利用状況等によって、開催不可になる場合もある。)

⑩ アスティとくしま開館25周年記念プレイベントの開催 新規

アスティでコンサート等開催時には、約3,000~5,000名の集客があり、県内客のほか観劇プラス観光目的の県外客が多数訪れ、宿泊や料飲施設、観光施設等への経済波及効果をもたらしている。

次年度が当センター開館25周年に当たることから、設置目的である交流の促進と観光・産業の振興に寄与することを目指し、集客力のある著名アーティストによるコンサートを開館25周年プレイベントとして誘致・開催する。

⑪ 環境対応施策

今年度も、緑のカーテンの設置をはじめ、クールビズやウォームビズ対応に引き続き取り組むとともに、照明器具等を適宜照度効率の高いLED球に交換する等、経営状況を勘案しながら節電対策を図る。

⑫ その他

予約管理システムやホームページ等は、更なる利用者サービスの向上を図るため適宜改良し、より利便性の高い施設づくりに努める。

2. 徳島県立男女共同参画交流センター（ときわプラザ）の管理運営事業

ときわプラザも、当協会が継続して管理運営を担うこととなった2年目であり、「安全・安心・快適」かつ「利用しやすい」施設づくりを第一義とし、「人・物・情報」の交流拠点を目指し、利用者サービスの向上に取り組む。

また、関係者等との連携を密にしながら、アスティとくしまを含めた一体的な施設運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホールや研修室等の利用率向上に努める。

3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館（エディ）の管理運営事業

県内最大の観光施設、渦の道等の管理運営については、共同管理運営者である（株）ネオビエントとの連携を密にしながら、顧客満足度の更なる向上を目指し取り組む。

今年度も、多彩な自主事業の展開や利用者サービスの向上に努めるとともに、渋滞対策業務などのほか、旅行AGT等に対する誘致活動などを行い、入館者数の拡大に努める。

なお、平成29年度末で四期目の指定管理者としての契約期間が満了することから、平成30年度以降も引き続き受託できるよう共同で取り組み応募する。